

「神戸市消防団スマート情報システム」が総務大臣賞を受賞（日本オープンイノベーション大賞）

予防課（消防技術政策担当）

このたび、AI防災協議会、神戸市消防局等が共同で開発した「神戸市消防団スマート情報システム」が、第3回日本オープンイノベーション大賞において総務大臣賞を受賞し、令和3年2月25日に表彰式が行われました。

1. 日本オープンイノベーション大賞について

日本オープンイノベーション大賞とは、科学技術・イノベーションの社会実装の取組としてオープンイノベーションの手法を効果的に実施する企業・団体・大学等を表彰するものです。内閣府政策統括官（科学技術・オープンイノベーション担当）が事務局となり、平成30年度から毎年度実施されています。オープンイノベーションの取組で模範となるようなもの等について、内閣総理大臣賞とともに担当分野毎の大臣賞（総務大臣賞を含む。）として表彰されています。

令和2年度に実施された第3回日本オープンイノベーション大賞において、応募された取組の選考の結果、「神戸市消防団スマート情報システム」が総務大臣賞の表彰対象として決定しました。

2. 「神戸市消防団スマート情報システム」の概要

神戸市の消防団と神戸市消防局及びAI防災協議会では「消防団スマート情報システム」により早期に災害の全体像を把握できるよう、消防団員がスマートフォンの無料通信アプリや人工知能（AI）を活用して自然災害時の情報共有を試みています。

令和元年9月1日から神戸市内の消防団を対象として、台風や地震等の自然災害時における情報共有と安全管理を目的に運用が開始されました。

「消防団スマート情報システム」は、消防団員が所有するスマートフォンのLINEアプリから、事前に登録している防災チャットボットへ災害状況を報告すると、

AIが集まった情報を整理し、自動的に地図上に集約・表示（情報収集機能）してくれるシステムです。また、LINEの通知機能を使うことで、消防団員からの報告だけではなく、消防本部から消防団員に向けて危険情報等を一齐に送信することもできます。

このシステムを使うことで、これまでの方法で情報収集するよりも格段に速く（一齐送信する場合、登録団員全員に情報が到達するまで7秒）、少ない情報収集人員（2人程度）により、市内の状況を把握することができるようになりました。

システム登録団員数は1,822人（令和3年4月1日現在）で、定期的に操作訓練が実施されています。



3. システムにより期待される効果

早期に災害の全体像を把握できることで、効果的に災害現場活動を行い、被害の軽減につなげることができるようになります。

また、緊急時に危険情報（津波到達情報等）を一齐に情報伝達でき、災害現場の最前線で活動する消防団員の事故防止につながり、消防団員の安全管理の向上が期待できます。

AIで整理された地図は、消防局、消防署、消防団本部、登録した消防団員のスマートフォンでも閲覧できます。

消防団員から情報提供された画像などの情報で、消防団員に危険が差し迫っている場合などは、災害支援情報をLINEで発信するだけでなく、消防団員全員に付与されているIDにより団員個人を特定することができるので、個別にスマートフォンに電話をかけ避難指示をすることも可能です。

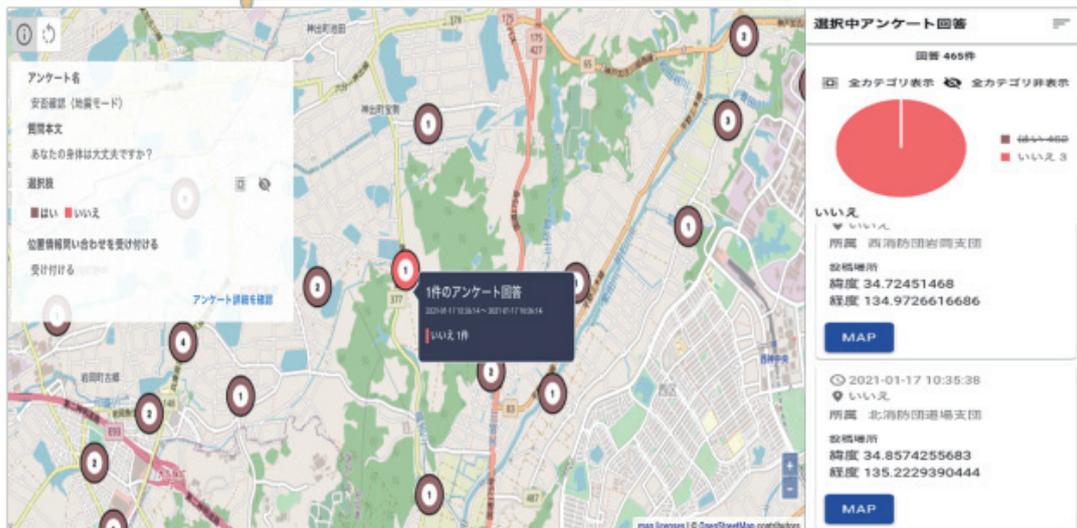
また、AIで整理された地図は、IDとパスワードさえあれば、他の部署や機関でも閲覧できるので、市民への避難指示や市民が必要と思われる情報の広報にもつながります。

現在、更に大地震時等に安否確認ができる機能の追加を研究中です。

防災チャットボットを活用した安否確認



消防団員の安否状況のマッピング



なお、令和3年2月25日に行われた第3回日本オープンイノベーション大賞の表彰式の様子は、以下URLにて閲覧することができます。

(<https://www.youtube.com/watch?v=CQfCKyecPXk&feature=youtu.be>)

問い合わせ先

消防庁予防課（消防技術政策担当）
TEL: 03-5253-7541